

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
地域理学療法学実習	PSP22-011	必修	1	2	後期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
三科 貴博 他	D317	t-mishina		火曜日 12:10～13:00	
授業の目的・概要	臨床実習協力施設における臨床実習指導者の指導の基、通所リハビリテーションおよび訪問リハビリテーションにおける、理学療法の業務内容やケアプランの作成過程を見学する。加えて、臨床業務補助を行い、地域理学療法に必要な理解を深める。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 (      )				
学習上の助言	地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割を理解することが主たる目的となるので、関連する知識の復習をしっかりと行うこと。				
教科書	特になし。				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	職業人としての望ましい態度・行動ができる。			RH (1),(3),(4),(6)	
②	地域における理学療法士の役割と業務内容を説明できる。			RH (2),(3),(5)	
③	各種記録を作成することができる。			RH (2),(4),(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
<b>実習日程</b> ・ 地域理学療法学実習は、臨床実習協力施設にて 4 日間、学内での実習を 1 日の合計 5 日間行う。 ・ 開講時期は冬期休業期間 2025 年 1 月～3 月中を予定している。 ・ 実習詳細は、11 月または 12 月に説明会を開催する。					
<b>[学外実習内容]</b> 実習期間は冬季休業中の 4 日間とし、学外実習協力施設にて実習を行う。主な注意点を下記に示す。 <input type="checkbox"/> 実習施設の規則を遵守し、指示に従うこと <input type="checkbox"/> 予め立案した目標を達成できるように能動的に行動すること <input type="checkbox"/> 実習記録を作成し、次の日に実習指導者に提出すること(最終日の記録は指導者への提出は不要であるが、作成すること) <input type="checkbox"/> 適宜、必要な事項について予習・復習を行うこと					
<b>[学内実習内容]</b> 実習終了後 (1 日) ・ 実習の経験に基づき、実習の振り返りと実習の課題を行い、実習報告用のプレゼンテーション資料を作成する。 ・ 実習報告を各グループで行う。なお、各グループ内で日程を調整すること。 ・ 臨床実習アンケートに回答する。					
				必要時間 (単位：時間)： 40	

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

学習課題・学習時間							
地域理学療法学の内容を復習しておくこと。							
必要時間（単位：時間）： 5							
達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	30	70	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	10	0	10
	思考・推論・創造する力	0	0	10	10	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	10	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	10	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	10	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	10	0	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	10	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		実習終了後に、発表を行う。発表者だけでなく参加者全員の質疑応答の内容、態度、ディスカッションの充実度を評価する。				発表を聞き、その場でフィードバックを行う。
	②						
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	実習への参加、医療従事者として節度ある対応、学科指定の提出物、および学内での成果発表の状況をふまえて総合的に評価する。				実習終了後の発表の場で講評する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	粕山 達也、関口 賢人、坂本 祐太、関根 聡美、源 裕介、石井 智也、大塚 篤也、福田 京佑、元山 美緒						
教員の実務経験	理学療法士として複数名の臨床指導の経験を有している。						
実践的授業の内容	地域における介護保険関連のサービスを見学し地域包括ケアシステムの成り立ちを解説する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門基礎科目群および専門科目群の授業科目のうち、2 年次終了までに履修することができる必修科目の単位を全て修得していなければ履修できない。</li> <li>・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスを変更する可能性がある。</li> <li>・ 常に最新のものをチェックするよう留意すること</li> </ul>						